



武田山3号砂防えん堤 完成しました



太田川河川事務所では平成13年度から広島西部山系における直轄砂防事業に着手し、現在までに完成地区を含めて21地区で砂防事業に着手しています。

このうち、広島市安佐南区の武田山地区は、昨年の7月に当地区として初めて武田山3号砂防えん堤の工事に着手し、9月30日に地域の方々の協力により、事故無く

無事完成しました。武田山3号砂防えん堤は、当地区に計画された7基のうちの一つで、本体の長さ48メートル、高さ11メートルのコンクリートえん堤です。当地区においては、残り6基のえん堤の早期完成を目指して工事に着手していく予定です。今年の7月に山口県防府市において大きな土石流災害が発生しました。当事務所からも多くの職員が現地への支援に向かい被災の状況を目の当たりにする中で、改めて砂防事業の必要性を実感させられました。広島県は土石流災害の発生する危険性の高い溪流が全国で最も多い県です。今後とも皆様の生命と財産を守るために、砂防事業の早期完成を目指します。広島西部山系直轄砂防事業の推進に、ご理解とご協力をお願いいたします。

太田川の刈草を無料で提供 申込締切日10月16日

太田川河川事務所では、河川堤防等の適正な維持管理のため、除草作業を行っていますが、発生する刈草を、農業・畜産での活用などに利用される方に無料で提供いたします。申込締切日は10月16日です。

また、洪水の流下阻害や不法投棄を誘発するなど、河川の管理上支障となる河道内の樹木を計画的に伐採していますが、コストの縮減と木材資源の有効利用を図る試みとして、自ら伐採して持ち帰っていただく方を募集しています。公募締切日は10月16日です。

樹木伐採希望者も募集中 申込締切日10月16日

くわしくは、ホームページもしくは太田川河川事務所・大芝出張所＝電話082-237-3404(平日10:00~17:00)へお問い合わせください。



無料提供する刈草のロール

太田川・小瀬川「安全利用点検」を実施 水面部における点検も

太田川河川事務所では、ゴールデンウィークを前に安心して河川を利用していただくという観点から、一般の方々が多く利用される箇所を選んで「河川における安全利用点検」を職員と、警察、消防、水辺の楽校協議会等の皆さん計40名で4月21・22・24日に実施し、要注意箇所は補修等を行いました。

7月6・7・18日には「水面部における安全利用点検」も実施しました。



天満川(広島市中区舟入幸町)での点検

国土交通功労者(優良工事・業務)と 永年勤続の水門等操作員を表彰

太田川河川事務所では、国土交通功労者として優良工事施工団体、優良業務請負団体、優良工事下請企業に対して事務所長表彰を7月21日に行いました。

また、長年にわたり水門等操作員として従事され、河川行政の推進に功績のあった方に対し、国土交通功労者表彰として中国地方整備局長表彰の伝達を、また、30年勤続された方には事務所長表彰、退職された方には

感謝状の贈呈を7、8月に各市区町役場において行いました。

伝達式では、阿部徹事務所長が受賞された皆さんに表彰状を手渡し、「水門操作は風雨の中、過酷な条件下での作業で大変ご苦労ですが、今後ともご尽力をたまわれますようお願い申し上げます」と挨拶。各市区町長からも労いの言葉がかけられました。

【国土交通功労者表彰】

- 優良工事施工団体
(株)増岡組、洋伸建設(株)、大之木建設(株)
- 優良業務請負団体
(株)建設環境研究所
- 優良工事下請企業
(有)光豊産業

【水門等操作員表彰】

- 局長表彰伝達
20年以上 2名、10年以上 15名
 - 事務所長表彰
30年以上 6名
- 表彰実施日
安佐南区 8月5日、安佐北区 8月7日
安芸太田町 7月29日、大竹市: 8月7日

伝達式表彰勤続水門操作員



安芸太田町での表彰式



大規模災害を想定して 地震防災訓練を実施

太田川河川事務所では、9月1日午前8時に管内で震度5弱の地震が発生したという想定で地震防災訓練を行いました。

この訓練は、大規模地震による災害に対して、国民の安全、生命および財産を保全するために、防災体制の確認を行い、職員の防災対策能力の向上を図ることを目的として実施しています。

地震発生時の初動体制の確立に向けた行動の確認、災害対策支部の設置、発災から災害応急対策までの、被災状況の迅速かつ正確な把握・伝達及び的確な指揮・対策等の訓練を実施しました。



出水期前点検を実施 砂防えん堤の安全性も確認

太田川河川事務所では、6月11日から10月25日までを太田川の、

6月16日から10月15日までを小瀬川の「出水期」と定めています。

この期間は、梅雨前線や台風等にもなう大雨・暴風により、土石流やがけ崩れなどの

災害が発生するおそれが高まるので、特に警戒を強めています。

6月4日には、河川堤防等の「出水期前点検」を実施。6月12日

には砂防施設の機能および付随する施設の安全性についての一斉点検を行いました。

浸水想定区域を ホームページで公表しています

近年、河川整備の着実な進捗により、かつてのような大河川の氾濫の頻度は減少しているものの、都市化の進展に伴う人口および資産の集積を背景に、一度氾濫が発生した時は被害が甚大なものとなる恐れがあります。浸水被害発生時において住民の円滑かつ迅速な避難の確保のためには、浸水すると想定される範囲と水深を示した浸水想定区域を指定し、公表することが必要です。

中国地方整備局では、太田川水系の太田川本川・三篠川・根谷川について「浸水想定区域」の公表を平成13年に行いました。さらに、水防法の一部改正（平成17年7月）にともない、「水位周知河川」に指定された太田川水系天満川・旧太田川・元安川の市内派川および太田川水系古川について「浸水想定区域」の公表を平成21年6月22日に行いました。

また、太田川水系京橋川・猿猴川の浸水想定区域図についても、広島県において作成されたので、太田川下流域がすべて網羅された浸水想定区域図も公表しています。



太田川水系浸水想定区域図 検索

水難事故防止週間を新設

太田川・小瀬川では、流域の都市化の進展により、河川環境への関心、河川の利用者の増加、利用形態の多様化が進んでいます。その一方で、河川はもともと急な増水などの危険性を内包しており、利用に伴う危険は本来利用者自らの責任で回避するよう努めていただくことも必要です。

近年、全国で局地的豪雨（ゲリラ豪雨）が多発しており、各地で急激な水位上昇による水害や水難事故が発生しています。それに伴い、今年度から国土交通省では7月1〜7日を「河川水難事故防止週間」として7月の河川愛護月間に位置づけました。

雷が鳴ったり黒い雲が見えたら、川からすぐに離れましょう。

クリーン 太田川 小瀬川 を実施

毎年7月は「河川愛護月間」です。月間行事の一環として、今年も河川の



太田川

一斉清掃「クリーン太田川」「クリーン小瀬川」を7月12日に実施しました。

「クリーン太田川」は太田川流域の全市町などからなる「クリーン太田川実行委員会」の主催により平成5年度から実施しており、「清流といえは太田川といわれたいね！」をキャッチフレーズに、空き缶やビニール袋などの散乱ゴミを拾い集めています。今年

は2万3千人を超える皆さんにご参加いただきました。「クリーン小瀬川」は小瀬川流域の2市1町の協力を得ながら、自治会・老人クラブ・子供会の皆さん約1600人にご参加いただき、たくさんのごみを拾い集めました。

太田川・小瀬川ゴミマップ作成

国土交通省では、全国の一級河川における不法投棄の状況やゴミの散乱状況をまとめた「ゴミマップ」を作成し、インターネットで公開しています。「**全**国の**河川ゴミマップ**について」で検索してご覧ください。

平成20年度版の『太田川・小瀬川ゴミマップ』も公開しており、PDFファイルをダウンロードすることもできます。

河川にゴミを捨てる行為は違法です。みんなで河川を大切にしましょう。

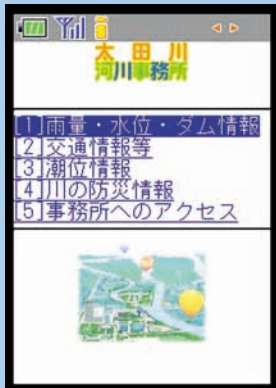


携帯電話版ホームページでは 天気情報・水位情報等がご覧になれます

近年、ゲリラ豪雨の発生頻度が高まっており、野外活動時などの気象情報の取得が重要になってきています。

太田川河川事務所では、洪水に関する情報にすぐにアクセスし、的確な避難行動がとれるよう、携帯電話版ホームページを開設しています。

右下のQRコード(URLが新しくなりました)からアクセスし、ブックマークに登録してください。



<http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/keitai/>

まだまだ台風などの災害のおそれがあります。ぜひご利用ください。

